



議会だより

あ い か わ

第 114 号

責任者 議会議長 熊澤俊治
年 4 回発行・本号12ページ



(真夏でも涼しげな塩川滝周辺)

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 新病院誘致に伴う 病床数確保に関する意見書を知事へ提出 | P 2 |
| 一般質問に9人が登壇 | P 5 ~ 9 |
| 傍聴アンケート集計結果まとまる | P 10 ~ 11 |

平成19年 8 月15日

＜ 6 月定例会 ＞

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

提出議案13件可決

平成19年第2回愛川町議会「6月定例会」は、6月1日に開会され、会期14日間（本会議開催日4日間）にわたり開催されました。

この定例会では、専決処分をはじめ条例の改正、補正予算、工事請負契約の締結、財産の取得など、合計13件の町長提出議案を可決しました。また、議員提出議案として「新病院誘致に伴う病床数確保に関する意見書の提出について」を可決し、意見書を松沢知事に提出しました。本号では、これら「6月定例会」の内容を中心にお知らせいたします。

議員提出議案

病床数確保に関する意見書

（賛成全員）



知事に意見書を手渡す正・副議長（県庁にて）

新病院誘致に伴う病床数確保に関する意見書を6月11日に町議会を代表して、熊澤議長と中山副議長が松沢知事に提出しました。

新病院誘致に伴う病床数確保に関する意見書

本町内の医療法人社団陽寿会 春日台病院は、医師の確保が困難、診療報酬の改定による減収などを理由として3月20日に閉鎖されました。当病院は昭和44年に県、町及び内陸工業団地の強い要請により、厚木市上依知に内陸センター診療所として開設し、その後昭和48年に医療施設の拡充と入院ベッドを増床するなど整備し、本町春日台に開設しました。一方、厚木医師会の二次救急指定病院として救急業務を開始、平成5年には、町の要請により耳鼻咽喉科を新設、平成13年10月からは日曜・祝日の午前中を内科、外科、整形外科、小児科等の一般外来診療を行ってまいりました。また、内陸工業団地を中心に産業医活動、検診、人間ドックなどの保健業務を始め、訪問看護ステーション、往診専門ステーション、介護ステーション及び町内の志田山ホーム、ミノワホーム、老健施設せせらぎ等福祉施設の後方支援病院として24時間体制で対応してきており、真に地域密着型病院としての役割を果たしてまいりました。この春日台病院の閉鎖により、新病院誘致が緊急の課題となったことから、地域医療の担い手を探していたところ医療法人社団福寿会 厚木北部病院が本町で病院を新たに開設する意向を示し、現在本年度実施される病院開設事前協議に向け準備を進めております。こうしたことから、町では、新病院の建設予定地を町文化会館北側に確保することに全力を尽くしております。新病院誘致は、本町にとって必要不可欠な課題であることから入院、通院患者の療養面や救急医療の更なる充実、災害時医療拠点としての役割など総合的にご考慮のうえ、県におかれましては、病床数の確保並びに新病院建設に関しまして、こうした事情をご理解いただき特段のご配慮をいただければ幸いです。

平成19年6月1日
 神奈川県知事 松沢成文 殿

神奈川県愛甲郡愛川町議会
 議長 熊澤俊治



平成19年第2回定例会日程

| 月 | 日 | 曜 | 会議名 | 主な内容 |
|---|----|---|------------------------|------------------------------|
| | 1 | 金 | 本 会 議 | 町長提出議案の説明・議員提出議案の説明、質疑、討論、採決 |
| 6 | 5 | 火 | 本 会 議 | 一般質問（6人） |
| | 6 | 水 | 本 会 議 | 一般質問（3人） |
| | | | 総務建設常任委員会 教育民生常任委員会 | 継続審査・所管事務調査等 |
| | 13 | 水 | 本 会 議 | 提出議案の総括質疑・討論・採決、 |

専決処分

◎専決処分の承認（国民健康保険条例の改正）
 （賛成15人・反対2人）

ポイントⅡ地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額を現行の53万円から56万円に引き上げるもの。施行期日は平成19年4月1日から、平成19年度以降の年度分の国民健康保険税について適用するものです。

◎専決処分の承認（平成19年度老人保健特別会計補正予算（第1号））
 （賛成全員）

ポイントⅡ18年度の老人医療費が確定し、5月までに執行しなければならぬことから、自治法の規定により専決処分をしたものです。

条例関係

◎手数料条例の改正
 （賛成全員）

この特別会計の財源は社会保険診療報酬支払基金交付金、国庫負担金、県負担金及び町一般会計の繰入金で構成され、それぞれの負担割合により交付されます。そこで、18年度の医療費の実績による、各交付金の見込み額を差し引いた結果18年度の歳入に不足が生じたため、支払基金への償還と、19年度予算の繰り上げ充用を行い、歳入歳出にそれぞれ403万6千円を追加し総額を2億2千303万6千円としたものです。

なお、施行期日は平成19年8月25日からです。

◎消防団員等公務災害補償条例の改正

一般会計補正予算の内容

歳入

| 事業 | 金額(千円) | 内容 |
|-----------------|---------|-------------------|
| 財政調整基金繰入金 | 197,744 | 病院関連事業費への取り崩し |
| 庁舎周辺公共施設整備基金繰入金 | 300,000 | 病院貸付用地取得事業費への取り崩し |
| コミュニティ助成事業助成金 | 1,800 | 財団法人自治総合センターからの助成 |
| 合計 | 499,544 | |

歳出

| 事業 | 金額(千円) | 内容 |
|--------------------------|---------|-------------------|
| 職員駐車場整備工事費 | 14,950 | 214台分の駐車場整備 |
| 来庁者駐車場整備工事費 | 2,000 | 21台分駐車場整備 |
| 道路新設改良舗装事業費 | 143,260 | 病院建設に伴う周辺道路整備 |
| 下水道事業特別会計繰出金 | 18,900 | 病院等庁舎周辺公共施設の下水道整備 |
| 田代区自主防災組織資機材購入事業費補助金 | 600 | 小型動力ポンプ |
| 上熊坂青少年健全育成会会長胴太鼓購入事業費補助金 | 1,200 | 長胴太鼓購入費 |
| 病院貸付用地取得事業費 | 318,634 | 病院貸付用地5,639㎡ |
| 合計 | 499,544 | |

| 区分 | 改正前 | 改正後 |
|---------------|------------|------------------------------|
| 扶養親族 3人目から | 日額 167円 | 日額200円 (扶養親族2人 目までと同額) |

(賛成全員)
ポイント⇨非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、配偶者以外の扶養親族のうち3人目以降に係る補償基礎額の加算額(日額)を、2人目までの扶養親族に係る加算額と同額に引き上げるものです。

補正予算

なお、施行期日は平成19年4月1日からです。

◎平成19年度一般会計補正予算(第1号)

(賛成全員)

ポイント⇨今回の補正は歳入歳出にそれぞれ4億9千954万4千円を追加し歳入歳出予算の総額を131億5千254万4千円とするもので、主なものは、病院誘致事業関連に伴う経費などです。

なお、補正額の内容は左表のとおりです。

◎平成19年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)

(賛成全員)

財産の取得

(賛成全員)
ポイント⇨今回の補正は歳入歳出にそれぞれ1千890万円を追加し、歳入歳出予算の総額を16億6千90万円とするもので、主なものは、病院建設に伴う汚水管整備工事費などです。

◎消防団用車両小型動力ポンプ付積載車購入
(賛成全員)
配属する消防団は、細野区を管轄する1分団第5部及び角田区を管轄する2分団第4部の計2台を更新するものです。

取得価格
1千695万5千4百円
(2台)

納入者
日本機械工業株式会社
東京営業所

納入期限
平成19年10月31日

◎塵芥収集車購入
(賛成全員)
2トン級塵芥収集車が排ガス規制により、使用できなくなることから2台を更新するものです。

取得価格

事件議案

1千186万5千円(2台)
納入者
横浜日野自動車株式会社
納入期限
平成20年3月19日

◎神奈川県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更
平成19年3月10日に城山町・藤野町が相模原市に編入合併となったことに伴い、連合を組織する地方公共団体の数が減少したため、規約を変更するものです。

◎町道路線の廃止・認定
(以上、賛成全員)

人事

◎固定資産評価審査委員会委員の選任
(賛成全員)
ポイント⇨固定資産評価審査委員会委員の中村一夫氏(三増在住)が平成19年8月11日をもって任期満了となり、新たに、高木雅夫氏(三増在住)を選任することに同意しました。

工事請負契約締結

◎弊山下平線第一工区橋りょう上部工工事(架設)
請負契約の相手方
角田及び中津地内
(賛成15人・反対2人)
株式会社エム・テック
請負契約金額
2億8千87万5千円
工期は平成20年3月25日まで。
工事場所

**8月臨時会
農業委員会を
3人推薦**

8月7日に、平成19年第2回愛川町議会臨時会が開会され、議会推薦の農業委員会委員を決めました。
土地改良区が推薦した1人と議会が推薦した3人の学識経験を有する者であり、議会では、次の方を推薦しました。

中津在住 林 茂氏
角田在住 佐藤 茂氏
半原在住 高瀬喜男氏

人事

農業委員会委員には、選挙による委員と町長が選任する委員があり、本年8月9日で任期が満了しました。選挙による委員の定数は10人で、また町長が選任する委員は農協が推薦した理事1人と





一般質問

山田町長 厚木北部病院も連携・協力を積極的であることから、休日診療や二次救急医療、予防接種やがん検診、人間ドックなどに加え、来年度から始まる特定健康審査特定保健指導もお願いしたいと考えています。さらに、町内医師会との病診連携を進めていただき、かかりつけ医への支援を通じた地域医療の充実を図り、救急医療や共同医療、など

中核的役割を町医師会等と協力

熊坂議員 新病院完成後、どのように連携を図って行くのか。
また、新病院に期待するものは何か伺います。

新病院に期待と連携



熊坂 徹議員

地域の中核病院としての役割を十二分に果たしていただくことを期待しています。

どう取り組む子供の読書活動

熊坂議員 本町では、他の自治体に先駆け子供の読書活動に取り組んでいますが、今年度、策定した推進計画の実績等を踏まえた取り組みを伺います。

推進計画を指針に豊かな感性を育む

熊坂教育長 国や県の読書活動推進計画の策定に伴い、より具体的な方針を示すことが必要となり、「愛川町子ども読書活動推進計画」を新たに策定しました。今後は、この計画を指針として、家庭や地域等様々なところで、子供たちが本を読む喜びを味わう機会を得て、感性豊かに育つよう読書活動を推進していきます。

質問事項①新病院誘致②子ども読書活動

新病院建設の概要人工透析の取組み



小倉 英嗣議員

小倉議員 以前より要請してきた総合病院誘致が実現する運びとなり、町民の方も大変喜んでいきます。そこで、新病院の施設概要と人工透析も含めた不足診療科目解消の取り組み状況を伺います。

ベット数は150床開院後に検討

山田町長 県央二次医療圏の病床数が基準数を超えており、現の病院建設は困難でしたが、大和市の田園都市厚生病院と本町の春日台病院が閉鎖となり、340床のベット数が空くことから、厚木北部病院が本町に新築移転することが決定しました。

新病院は、5階建ての病院棟と2階建てのクリニック棟、病床数は150床の計画です。

人工透析を含む不足診療科目については、開院後早い時期に検討したいとの事です。

温泉・道の駅で雇用確保

小倉議員 団塊の世代が本年から定年を迎えるが、退職後の雇用創出が課題であり、働くための福祉を推進する事で、医療費や介護費の削減が期待されます。雇用の推進するための温泉・道の駅建設の考えを伺います。

財政的な課題多く大変困難な状況

山田町長 温泉は、地域の活性化と町民の健康増進や交流の場として効果が見込

まれますが、温泉施設調査検討委員会で研究を重ねてきた結果、施設整備にかかる事業費や運営費等に莫大な費用が想定され、整備は困難です。道の駅についても県の財政状況や、全県的に今後、施設整備計画を認めない方針が示されており新たな道の駅の整備は困難な状況です。

質問事項①循環バス②三増馬渡線の安全対策③ヤマビル対策



新病院建設予定地
＝町文化会館北側

**地域介護サービス
今後の方策**



近藤 幸子議員

近藤議員「超高齢化社会を迎え、介護保険制度以外の地域介護サービスの需要も高くなると思います。

今後の方策を伺います。

**各事業の需要精査
ニーズ把握に努力**

山田町長「本町では、在宅介護支援センター事業、ミニデイ・配食サービス、徘徊位置検索システム、移送サービス等のほか、愛川福祉サービス協会によるホームヘルプサービスを実施。

また、今年度からは高齢者バス割引乗車券購入助成事業も介護予防の効果が期待できます。

今後とも需要を精査し、ニーズの把握に努めながら

より効率的、計画的なサービスの提供に努めたいと考
えていきます。

要援護者対策について

近藤議員「阪神淡路大震災レベルの地震が発生した場合、本町での要介護の高齢者や障害者など、災害時の支援について伺います。

**セーフティネット
関係組織と構築**

山田町長「行政、自主防災組織、民生委員、社会福祉団体に要援護者のセーフティネットの構築をお願い

し、自主防災組織の中に要援護者の担当を決めていただいています。
また、どこに住んでいてどのような支援が必要か把握するために、災害時要援護者登録制度を活用し、要援護者の情報共有を図るとともに、避難所運営マニュアルの作成等、支援体制強化に努めていきます。
質問事項①いじめ問題②高齢者介護



災害時の避難誘導訓練の様子

**中学校給食の
取組み状況**



井上 博明議員

井上議員「今年4月から、厚木市は中学校の完全給食に踏み切りました。

厚木市の中学校給食実施から学ぶ点について伺います。

**導入の課題研究
方向性を検討**

熊坂教育長「厚木市の中学校給食導入の課題で、施設整備では、既存の共同調理場の改修整備、各中学校の配膳室の改修整備、2階以上へ給食を運ぶエレベーターの設置等であり、運営面では、教育課程の日課の見直し、配膳・片付けや生徒の指導上の課題を検討されたと伺っています。
厚木市と本町では、条件



蔵書の充実が望まれる学校図書館
＝高峰小学校

学校図書館現状と課題

井上議員「平成17年6月議会の一般質問で学校図書館の本を増やす事、司書教諭の配置、学校図書館予算の増額を要請してきました。その後の取り組みや、現状と課題について伺います。

井上議員「平成17年6月議会の一般質問で学校図書館の本を増やす事、司書教諭の配置、学校図書館予算の増額を要請してきました。その後の取り組みや、現状と課題について伺います。

また、司書教諭講習への参加を教職員に勧めるとともに、県の司書教諭研修会など資質向上に努めています。

**今後、計画的に
蔵書の充実を図る**


熊坂教育長「国が進める図書整備計画に準じ、蔵書の充実を図っています。しかし、本町の各小・中

今後とも、計画的に蔵書の充実を図るとともに、学校の教育活動全体の中で読書活動を推進していきます。

質問事項①財政運営②介護保険③消防行政④路線バスの充実

岡本民生部長「外出困難者は18年度の実績では、身体障害者手帳をお持ちの方で1,170名、知的障害者の方で261名で、全体では1,431名です。このうちタクシー券や自動車燃料券の助成を受けた方が370名であり、差が1,061名となります。これらは重複している方や外出困難者の方も含まれており、この数値に現在の

**多くの外出困難者
有償運送で支援**



小林 敬子議員

小林議員「福祉有償運送サービス」の料金は、タクシー料金より格安でありませんが、外出困難者の人数を伺います。

**該当者は
20名前後を想定**

身体障害者のハンディキャプ利用率1・94%を乗じますと、全体では20名前後になると想定しています。

調整区域内の生活排水処理

小林議員「調整区域内の生活排水処理は単独または、合併浄化槽が中心です。単独では汚水は処理できませんが、生活排水はそのまま川に流入、または、浸透枳で地下浸透により処理をしています。今後の町の取り組みを伺います。

**市街化区域整備後の
研究課題**

山田町長「町内の市街化区域内の汚水整備は平成22年度に完了する見込みです。調整区域においては、市街化区域内の汚水・雨水整備に完了のめどが立った時点で地形や人口密度などの条件を踏まえて、下水道方式や合併処理浄化槽方式が良いのか、また、市街化区域内に課税される都市計画税や受益者負担金に代わる分担金、建設費、維持管理費などの費用対効果を総合的に研究していく必要があると考えています。



福祉有償運送移送サービスを受ける利用者

**はしかの現状と
予防対策**



小島 総一郎議員

小島議員「首都圏を中心にはしかが流行し、10代や20代の若者の感染が目立っています。これは予防接種をしても十分免疫がつかないことが流行に拍車をかけているそうです。

現状と取り組みについて伺います。

**予防啓発や
注意喚起に努める**

山田町長「本町では、町内小中学校で5名の発症がありました。現在は完治し、現在はいません。

また、町立保育園、県立愛川高校については、発症報告はありません。今後の取り組みについて

は、幼児期に予防接種を受けていたかどうかの勧奨の通知を発送しているほか、庁内職員で構成している感染症予防対策委員会において、感染症に関する情報を共有し、町民への予防啓発や注意喚起に努めています。



中津保育園で実施している一時保育事業

**一時保育事業
残り1カ所の実施時期**

小島議員「一時保育事業について、次世代育成支援行動計画に位置づけられている2カ所のうち、中津保育園のみが実施しているが、もう1カ所の実施時期を伺います。

**地区等を考慮し
21年度までに行う**

山田町長「現在、中津保育園で実施しており、事業が浸透し、利用者が年々増えることから、平成21年度までに地区等も考慮して、あと1園で実施することにしていきます。

質問事項①次世代育成支援行動計画②ふるさと納税③はしかの流行④(仮)愛川病院

観光で経済効果 成果と対策



馬場 司議員

馬場議員「観光事業について昨年12月の答弁では、河川行楽客のニーズに対応した商業化方策等の研究をしていくことでしたが、研究の成果と対策を伺います。」

工芸工房村にて 一店二品事業展開

山田町長「豊かな自然を最大限に活用した観光対策を充実していくことが重要と考えており、稚鮎の放流、マス釣り大会などの充実を図ります。」

また、観光協会ホームページによる情報提供や大型観光ボスターの作製など逐次進め、さらに、観光関連商品の販売により利益増加に

つながらるような手法の共同研究ができないか、地元商業関係団体と相談しており工芸工房村の一角に設置されていきます。

救急出場有料化の考え

馬場議員「消防行政について、救急出場の内容と有料化等について考えを伺います。」

利用抑制の恐れ 今後の研究課題

山田町長「平成18年度中の救急出場は1,766件、1日当たりの出場件数は4.8件となっております。この出場により1,660人を病院に搬送しております。そのうち61人は、ドクターヘリコプターを活用して搬送しています。」



高規格救急車

- ① 観光事業
- ② 職員人事
- ③ 消防行政

庁舎周辺の 交通安全対策は



梶原 正弘議員

梶原議員「現在、役場庁舎周辺では、大規模な流通企業や新病院の建設が予定されており、今後相当数の車両が庁舎周辺を通行することになるが、町では将来的に交通量をどう把握しているか。」

交通状況を注視し 対策に努める

山田町長「庁舎周辺は市街地調整区域であり、都市計画法の改正に伴い、公共公益施設の建設などは大きな制限を受けることになり、今後、交通量増大につながるような施設の建設は難しいと考えています。」



建設中の物流センター
＝角田梅沢前

産廃業者の状況と町の指導

梶原議員「町内における産業廃棄物業者の状況と営業許可など町の指導について伺います。」

各種関係法令や 条例に基づき対応

山田町長「廃プラスチック、紙くず、木くず、金属くず、汚泥など処理できる業者が13社、特別管理産業廃棄物を処理できる業者が2社及び許可を受けて準備を進めている事業所が2社となっ

山田町長 平成15年から17年度までの決算額及び18年度決算見込み額を累計すると2,574万5,362円です。また、補助を受けた団体は、延べ件数38団体、実数では15団体となっています。これらの団体のうち、NPO法人格を取得した団体はありませんが、町の補助を受けることなく、自立し

NPO取得なし 数団体が自立

山中議員 町民アイデア事業に1億円が示されたが実際の助成額及び助成グループ団体数とNPO法人格などに自立した団体があるか伺います。

アイデア事業 5年間の実績



山中 正樹議員



町民アイデア事業公開審査
＝庁舎分館会議室

山中議員 閉鎖の報告は、1月15日に病院長が来庁され報告を受けたもので、その時点で閉鎖することを知

閉鎖は寝耳に水 期限は病院存続中

②町民アイデア1億円
の回答を得ています。
質問事項①春日台病院閉鎖

経営状態については、厚木保健福祉事務所に照会をしたところ、問題はない旨の回答を得ています。

新病院土地貸付いつまで

て活動している団体が数団体あります。

山中議員 春日台病院の閉鎖に関して、町は本年1月15日以前に把握していなかったのか。

また、土地の貸付期限と北部病院の経営状況を伺います。

たわけであり、まさに寝耳に水のことです。

病院用地については、公設民営の強い要望がありました

したが、最終的には、建物建設に必要な土地を町で確保し、建設は北部病院で行い、貸付期限は病院が存続する間です。

総括質疑

ここが聞きたい! そこが知りたい!

鳥羽 清議員 (会派あすか)

Q 職員駐車場整備工事費1,495万円の内容について

Q 職員駐車場整備に公費を充てる根拠について

A 整備箇所は、愛川中原中学校西側に180台分と現在の来庁者駐車場の北側に34台分を整備するもので、整備内容は、厚さ20cmの敷砂利を施工し、1区画を長さ5m、幅2.5mとし、ロープにて区画割りをします。

A 従来、町職員親睦会が民地を借用し、職員駐車場として使用していた土地を本町が病院建設用地として買収するため、その代替地として、町公共事業に伴う損失補償の観点から、町が整備を行うものです。

熊坂 徹議員 (会派みらい)

Q 病院貸し付け用地取得事業の無償貸与について

A 厚木北部病院を誘致するために、普通財産として用地を町で取得し、無償貸し付けすることについては、医療法人は一般的に公共的団体に該当し、公益事業の用に供するものであるとされています。このため、町の財産の交換、譲与、無償貸し付け等に関する条例(※第4条第1項第1号の規定)

に基づき、使用貸借契約により無償で貸し付けを行うものです。

※普通財産は、次の各号の1に該当するときは、これを無償又は時価よりも低い価額で貸し付けることができる(1)他の地方公共団体その他の公共団体又は公共的団体において、公共若しくは公共用又は公益事業の用に供するとき。

林 茂 議員 (会派あいかわクラブ)

※1 Q角田1151号線新設に伴う接続道路の交通安全対策について

※2 A町道角田1139号線と県道相模原・愛川線の交通安全対策については、現状幅員4mから4・7mであり、県道の接続も隅切りが一方方向の設置となっており、関係地権者の協力を得た段階で病院の開院予定までには、拡幅改良や隅切りの設置、及び※2町道角田1151号線との接合部の線形改良等を実施したい。

※1 文化会館北側から2分団第3部器具舎までの道路

※2 箕輪地区2分団第3部器具舎から県道相模原・愛



新設予定の町道角田1151号線

川線までの道路

Q下水道面整備事業増額の委託料及び工事費の内容について

A委託料については、旭硝子南側のコピオへの進入路交差点より愛川中原中学校校庭東側の町道を通り、同校北側の町道を経由し消防庁舎玄関前へ結ぶ延長約610mの実施設計業務です。また、工事費については消防庁舎玄関前から文化会館との交差点付近を経由し中学校へ向かい、最初の住宅まで管径200mmの污水管を延長117m先行して整備するものです。

井上 博明 議員 (会派 共産党)

Q道路新設改良の雨水処理について

A道路新設の雨水処理については、現在、雨水施設として中津第一雨水幹線が旭硝子前の町道一ツ井・箕輪上原108号線が整備されており、この雨水幹線に準幹線として接続されている口径700mmの雨水管が文化会館北側まで埋設されていることから、町道角田1131号線につきましては、この雨水管に直接流入させる計画であります。

また、病院建設予定地北側に新設する町道角田1151号線及び愛川バスセンター沿いに拡幅改良する町道角田1152号線については、町道角田1151号線に雨水管の埋設を計画し、中津雨水第一幹線に排水したいと考えています。

※1 一号公園前信号から県道相模原・愛川線まで

※2 文化会館北側と現職員駐車場の間の道路

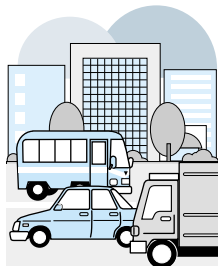
※3 愛川バスセンターと株オチアイの間の道路

※4 文化会館北側から2分団第3部器具舎までの道路

Q田代婦人防火クラブへの資機材整備の内容とクラブ員数及び活動状況について

A整備する資機材は小型動力ポンプ、吸管、消防用ホース等と、これらを積載する台車です。

また、クラブ人員は現在11名であり、初期消火や応急手当の訓練の実施や地域において、各種防災指導を行うなど積極的に活動しています。



議会だより・議会に関する 傍聴者アンケートの結果

平成18年6月から計4回、議会定例会を傍聴された117人の方々に「議会だよりあいかわ」についてアンケートをお願いし、次のような結果が得られました。

今後、アンケート結果をもとに「議会だより」の内容や紙面などを改善し、さらに町民の皆さんに親しまれる広報として充実を図ります。

【「議会だより」を読んだことがありますか】

- ① 毎回読んでいる 86人
- ② 時々読んでいる 14人
- ③ たまにしか読まない 8人
- ④ 全く読まない 0人
- ⑤ 無回答 9人

【全部の記事を読んでいませうか】

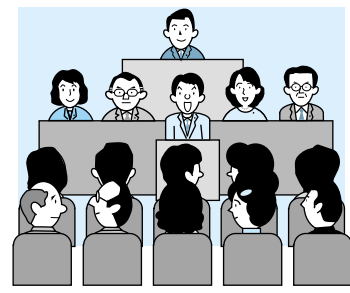
- ① ほぼ全て 91人
- ② 一部だけ 17人

【最も関心がある記事は何ですか】※複数回答あり

- ① 可決議案の内容 36人
- ② 一般質問 67人
- ③ 総括質疑 12人
- ④ 討論 15人
- ⑤ 町民の声 36人
- ⑥ その他 0人

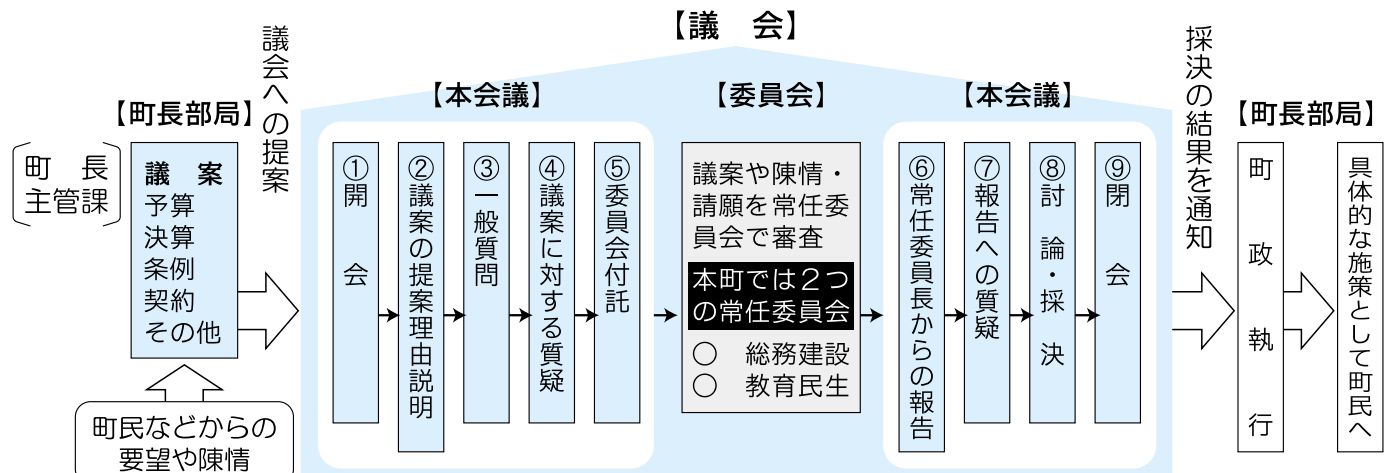
【紙面のレイアウト(構成)

- 【読まない理由を挙げてく
ださい】
- ① 読みやすい 25人
 - ② 普通 80人
 - ③ 読みづらい 3人
- ① 内容が難しすぎる 1人
② 用語・表現が難しすぎる 0人
③ 活字が多すぎる 1人
④ その他 1人
- (議員個人の発行の方がお
もしろい)
(以上、複数回答あり)
- 【掲載してほしい内容】
- ・ 町債の内容
 - ・ 議会予定だけでなく一般質問の内容を掲載してほしい。
 - (※議会だより発行後、一般質問の締切があるため掲載は出来ません。町ホームページをご覧ください。)
 - ・ 否決事項についての解説。
 - ・ 議員の日頃の活動とその成果について
 - ・ 議会だよりの中に町道何号線と表記されているが、どの道かわかるように掲載してほしい。
 - ・ 外国人にもわかる内容
- 傍聴者の声
- ・ 議会を休日か夜に開催すること、傍聴も増え議会



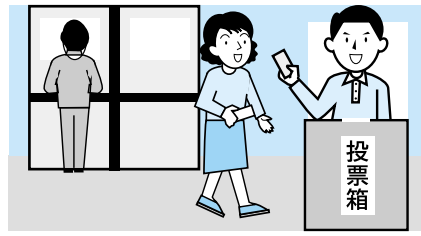
の活性化につながるのでは。
・ 一般質問の答弁が長いので、簡潔にしてほしい。
・ 町の考えが聞けて、大変勉強になりました。
・ 質問されない議員さんがいるが、順番制なのか。
・ 傍聴席の温度調整に気配りをお願いしたい。
・ 同じ議員の質疑時間を午前・午後と分けないで午前中に終わらせてほしい。
・ 質問・答弁もただ読むだけでなく、生きた議会を願う。
・ 重複の質問が多いように感じた。
・ 議会開催日を循環パスが休みの火曜日を避けてほしい。
・ 議席表を傍聴者にもわかるよう掲示してほしい。
・ 一般質問の質疑項目が多いため、結論が出ないまま終了。質疑を減らし充実した議会を望みます。

議会審議の流れ



議会の内容説明

- ① 議長が開会を宣告します。本会議を開くには議員定数の半数以上の出席が必要。
- ② 議案には町長と議員から提出されるものがあり、議案について提案者から内容の説明があります。(町長議案は各担当部長等が詳細説明)
- ③ 議員が町の仕事について質問し、町長などが答弁します。
- ④ 議員が議案について質疑し、部長などが答弁します。
- ⑤ 質問・質疑が終わると議案などをさらに詳しく調べるために、委員会へ付託(審査を依頼)します。
- ⑥ 付託案件の審査、調査が終わると再び本会議を開き委員会で決まった審査結果を報告します。
- ⑦ 常任委員長の報告に対する質疑を行います。
- ⑧ 討論は、審議の最終手段として、議案に対する賛否の意見を述べることです。
- ⑨ 全ての議案の採決が終わると閉会となり、町長はこれをもとに仕事を進めていきます。



任期満了に伴う町議会議員選挙が、9月30日(日)に行われます。議員定数は、18人で、これからの4年間、町の政治をまかせる代表者を選ぶ大事な選挙です。

大切な一票を無駄にしないよう、みんなそろって投票しましょう。なお、詳しい内容については、町選挙管理委員会にお問い合わせください。

町議会議員選挙
投票日は9月30日

町民の声

“大切な宝物”



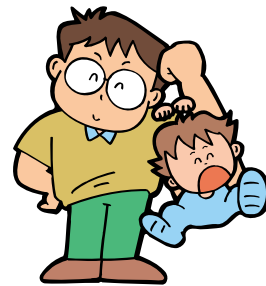
江畑 堅一 さん
(半原在住)

普段の会話の中で、「今の若い者は」、「最近の○○達は」などと言われて来たのに、気が付くと言っているのは自分かな？今の生徒達登下校のマナーの悪さが目立ち気になる事ばかり（歩道が無いのも事実）ちよつとした悪戯もチラホラある様です。

そんな生徒の行動を見て理解できない大人もいると思いますが、子供達の目線に立って話をする、なんとなく遣りたい事が見えて来る様な気がします。

簡単そうで難しそうです。が、自分達も同じ道を通って来たはず。

ゆつくり時間を掛ければ共通の話題も沢山あると思っ
ています。町・地域などが主権している行事や事業にボランティアとして多くの生徒が活躍し、キラキラと輝く姿が見られます。また、本人の意識の高さにはいつも感心させられます。私達保護者・地域と行政が一緒になって、子供達の安全を守り成長のためのお手伝い
が出来ればと思います。必ず、この子供達が未来の愛川町を築き上げてくれるはずです。



編集後記

昨年の子ども議会、愛川中学校の生徒さんのプールへの熱い思いの質問がかない、工事が完成し、この夏から泳げるようになりました。

さて、6月議会は(仮称)愛川病院について土地の確保・病院に通じる道路拡幅や新設道路などの補正予算が成立し、半原地域では個人医院が開業されるなど町民にとっては明るい兆しが見えてきました。

傍聴のお知らせ

9月定例会は下表のとおりです。本会議はいずれも午前9時から開会されます。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、8月24日(金)に開催予定です。

平成19年第3回定例会日程(予定)

| 月 | 日 | 曜 | 会 議 名 |
|---|----|---|------------------------|
| 9 | 3 | 月 | 本会議 (提出議案の説明) |
| | 4 | 火 | 本会議 (一般質問) |
| | 5 | 水 | 本会議 (一般質問) |
| | 7 | 金 | 本会議 (総括質疑) |
| | 10 | 月 | 総務建設常任委員会 |
| | 11 | 火 | 総務建設常任委員会 教育民生常任委員会 |
| | 12 | 水 | 教育民生常任委員会 |
| | 19 | 水 | 本会議(総括質疑・討論・採決) |

陳情・請願の締切日は8月17日(金)になります。日程が変更になる場合もありますので、詳しくは議事になります。

町ホームページでもご覧いただけます。

会事務局にお問い合わせください。

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、6月定例会の会議録は、9月中には備え付けができる予定です。

会議録設置施設

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

- 議会だより編集委員会
- 委員長 小林 敬子
 - 副委員長 馬場 司
 - 委員 成瀬 和治
 - 委員 小倉 英嗣
 - 委員 近藤 幸子
 - 委員 山中 正樹
 - 委員 佐藤 茂
 - 委員 鈴木 一之
 - 委員 小島総一郎